

18年度事業報告書

(平成18年9月1日から平成19年8月31日まで)

特定非営利活動法人フードバンク関西

(1) 事業活動の状況

フードバンク関西は、平成15年2月から約1年間の準備期間を経て、平成16年1月20日兵庫県知事の認証を得、同月26日特定非営利活動法人格を取得し、法人として活動を開始しました。去る平成19年8月31日をもって第4期会計年度を終了する事が出来ました。

当法人は、食品関連企業等から余剰食品を回収し、社会福祉施設や生活弱者の自立を支援する非営利福祉団体にこれら回収食品を無償分配する事により、これら非営利福祉団体を支援することを目的として、芦屋市呉川町に主たる事務所兼倉庫、尼崎市南清水に倉庫を構え、事業を展開しております。

この活動を通して、食べ物として美味しく栄養もあり安全な余剰食品の有効活用を図ると共に、生活弱者を支える非営利福祉団体を支援することにより、互いに助け合い、より多くの人々がより豊かな生活を楽しむことができる社会の実現に寄与したいと考えています。また、若干なりとも、産業廃棄物として焼却処分される食品の量を減ずる事により環境保全にも貢献する事を願っています。

当期、平成18年9月からマックスバリュ西日本株式会社がフードバンク関西の余剰食品の回収と分配事業に参加していただいた事により、毎月2回の米の無償提供を受けることとなり、当法人が非営利福祉団体に無償で分配する食品に主食の米が加わり、フードバンク関西の活動は内容的に大きく充実することが出来ました。本年度は1年を通じて毎月約30キログラムの米を、受け取りを希望した15団体に無償分配し、西成区のホームレス支援をする釜が崎支援機構にも不定期に米を提供することができました。

平成19年6月には、地元の老舗企業である高嶋酒類食品株式会社が、賞味期限が1ヶ月を切った漬物類をほぼ毎月定期的に無償提供して下さる形で本事業に参加し、日本の食卓に欠かす事のできない食品の種類が増え、さらに内容の充実が図れました。

鶏肉加工済食品の無償提供により、2005年からフードバンク関西との協働に参加されている株式会社ジャパンフードサービスは、毎月2トン強にまで提供量が増加し、フードバンク関西のボランティアだけでは食品の引き取りが困難になった6月以降、提供食品の搬入の大半を会社スタッフが引き受けてくださるようになり、フードバンク関西のボランティアの負担が減少しました。

本年度フードバンク関西が取り扱った食品の量は73.3トンで、昨年度の60.8トンから大きく増加しました。量の増加と共に内容の充実も顕著で、それら食品を受け取って有効活用して下さる非営利福祉団体の皆さんにとっても喜んでいただける結果となりました。

フードバンク関西が無償分配する食品を受け取り、有効活用して下さる団

体は少しずつ増加し、本年度末現在で27団体となりました。私達が取り扱う食品を食べ物として活用して下さる受益者数も月延平均として6千人を超えると考えられ、今後もさらに増加する事が予想されます。

2007年6月9日には毎日新聞関西版夕刊に活動紹介の記事が掲載され、8月1日に読売新聞全国版夕刊に一面を使つての活動紹介記事が掲載されました。それに続き毎日放送テレビ神戸支局からの取材が入り、8月7日夕方の報道番組の中で10分程度の特集として活動が紹介されました。報道関係者の注目を集めて記事や番組になる事は、私達の活動をより多くの皆さんに知っていただくよい機会となりました。その結果として、他のNPO団体からの交流の申し入れや食品関連企業からの問合せ等が増えました。

本年度に入ってから、中間支援組織である「コミュニティセンター神戸」、「大阪NPOセンター」、「東灘区ボランティアセンター」にボランティア募集や運営についてのアドバイスを求め、弁護士を紹介していただく等のご支援を受けました。その結果、ボランティア参加者が増え、食品受取についての確認書等の改訂を行う事ができました。

2007年1月に、主たる事務所を尼崎市南清水から昨年5月に開所した芦屋事務所に移動いたしました。食品の回収及び分配地点の中間に位置し、事務所設備も充実しており、ボランティアの集合場所としても便利と判断したことによります。以後、デリバリー活動の中心として、渉外活動の基地として、地域の皆さんとの交流の場である「ふれあい工房悠」として、集会の場所として、芦屋事務所は重要な働きを果たしています。

私達の広報誌、「フードバンク関西ニュース」は、会員への活動報告と関西地域に事業所を構える食品関連企業への協働の呼びかけを目的に、年に数回発行しています。本年度は2006年12月と2007年7月に発行した第10号、第11号の2回しか発行できませんでしたが、フードバンク関西の会員への情報提供に終わらず、関連企業への協働を呼び掛ける大切な機関紙として、今後もさらに充実を図りたいと考えております。また、フードバンク関西のインターネット上の公式ホームページも、多くの方に活用していただく事が出来、検索エンジン上位を維持できています。

2004年3月から大型商業施設との協働で開始した作業所生産品バザー「来て、見て、買ってね!」は、2ヶ月に一度の頻度で、定例的に開催し続けており、今年7月に第21回目のバザーを無事終了しました。

本年度2月に「認定NPO法人格」取得のための申請書を芦屋税務署に提出しました。認定NPO法人となる事で、私達の事業の公益性と内容の公正さを公的機関に認めていただくのが申請の目的です。4月に大阪国税局の審査を受けて、現在は国税庁からの結果連絡を待っているところです。

私達の事業は、NPO法人「しみん基金こうべ」から平成18年10月から19年3月までの期間、50万円のデリバリー経費の助成を受ける事が出来ました。また続いて、木口ひょうご地域振興財団から平成19年4月から20年3月までのデリバリー経費として55万円の助成金を受ける事が出来ました。

また、ジョンソンエンドジョンソン株式会社の社会貢献委員会からは、本年度も活動費の支援を受ける事が出来ました。この支援は当法人初年度からずっ

と続いており、私達の活動の大きな支えになっています。

毎日地道に作業に携わっている私達ボランティアにとって、皆様からこのような形で評価を受ける事は何よりの励ましとなっています。

今後とも正会員、賛助会員並びに余剰食品を提供して下さる企業の方々を含め、ご関係の皆様方には一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

(2) 当法人の概況

1 設立 平成 16 年 1 月 26 日

2 主たる事務所 兵庫県芦屋市呉川町 1 番 1 5 号

3 役員

理事長 藤田 治

理事 山本 茂

理事 浅葉 めぐみ

理事 土谷 好子

監事 長尾 紋直

4 正会員 20 名

以上